



## 2023年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社エアトリ 上場取引所 東  
 コード番号 6191 URL http://www.airtrip.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼CFO (氏名)柴田 裕亮  
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役社長兼CFO (氏名)柴田 裕亮 (TEL) 03 (3431) 6191  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	5,031	60.0	579	△38.4	601	△33.5	412	△38.4	370	△48.3	341	△54.1
2022年9月期第1四半期	3,143	△51.8	941	—	905	—	731	—	717	—	743	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	16.70	16.41
2022年9月期第1四半期	32.43	31.56

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	23,580	10,030	9,299	39.4
2022年9月期	24,135	9,908	9,185	38.0

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	25.8	1,000	△54.4	900	△54.5	700	△63.1	31.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

不確実な社会経済情勢に鑑み、コロナ完全収束による国内旅行収益の大幅伸長、世界各国での水際対策緩和による海外旅行収益の回復、投資事業の貢献等のアップサイド要因は織り込まない保守的な業績予想としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) — 、除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年9月期1Q	22,166,365 株	2022年9月期	22,157,465 株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	309 株	2022年9月期	309 株
③ 期中平均株式数	2023年9月期1Q	22,157,926 株	2022年9月期1Q	22,109,317 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の通期連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化、クライアントのニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更、為替変動等、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	4
(1) 経営成績に関する説明 .....	4
(2) 財政状態に関する説明 .....	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
<b>連結経営成績</b>				
売上収益	3,143	5,031	1,888	60.08%
営業利益	941	579	△361	△38.41%
税引前四半期利益	905	601	△303	△33.51%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	717	370	△347	△48.39%

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は企業収益について、一部に弱さがみられるものの総じて改善している他、個人消費が緩やかに持ち直している等、景気は緩やかに回復しています。

旅行業界を取り巻く環境は、国内では行動制限が緩和され、訪日旅行でも各国の入国制限の緩和が進んだこと等により、旅行需要が急速に回復しています。

当社グループは、当連結会計年度は成長戦略「エアトリ「リ・スタート」」の実行により、堅調に利益の積み上げを継続しております。

今後、新型コロナ5類移行に伴う国内・海外旅行需要の更なる増加を見込んでおり、高まる旅行需要に対する戦略的マーケティング投資によるエアトリ旅行事業の収益拡大、旅行事業以外の5つの既存事業の成長継続と戦略的な事業ポートフォリオ構築により、エアトリグループは終わりなき成長を目指しております。

当第1四半期連結累計期間における売上収益では、旅行需要回復による大幅な増収によりオンライン旅行事業では前年同期比83.6%増の4,933百万円となりました。ITオフショア開発事業では前年同期比36.0%減の98百万円、投資事業では株式譲渡等がなかったことから前年同期比100%減の0百万円となりました。以上より、当第1四半期連結累計期間における売上収益は、前年同期比60.0%増の5,031百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における営業利益では、旅行需要回復による粗利益の増加や、事業ポートフォリオの分散及び再構築の一環として取り組んだコスト削減策等の施策による増益効果がありましたが、前連結会計年度においてオンライン旅行事業セグメントに関する事業譲渡益など一時的な利益が計上されていたことの反動による影響等を受けております。オンライン旅行事業では前年同期比170百万円減の営業利益683百万円、ITオフショア開発事業では前年同期比108百万円減の営業利益3百万円、投資事業では前年同期比57百万円減の営業利益136百万円となりました。以上より、当第1四半期連結累計期間における営業利益は、前年同期比38.4%減の579百万円となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

## オンライン旅行事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上収益	2,685	4,933	2,247	83.69%
セグメント利益	854	683	△170	△20.00%

## 1. エアトリ旅行事業

当社は創業当時からオンラインに特化した旅行会社として、お客様へ便利なサービスを提供してまいりました。3つの強みである「仕入れ力」「多様な販路」「システム開発力」を主軸として、以下のサービスを展開しております。

## ①BtoCサービス(自社直営)分野

当社は業界最大規模の航空券取扱と各航空会社、東日本旅客鉄道との提携等で、強い競争力を実現しています。国内・海外旅行コンテンツを簡単に比較・予約出来るサイト「エアトリ」を運営しております。サイトの使いやすさに一層こだわりお客様に最適な旅の選択肢を届けます。

## ②BtoBtoCサービス(旅行コンテンツ OEM提供)分野

国内航空券・旅行、海外航空券・ホテル商材を、他社媒体様へ旅行コンテンツとして提供をさせていただいております。コンテンツのラインナップを増やすことにより、媒体ユーザー様の顧客満足度向上の一助となります。

## 2. 訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業

エアトリの子会社である株式会社インバウンドプラットフォームにおいて、訪日旅行者向けのWi-Fiルーターレンタルサービスを展開しております。レンタル実績は800,000件を超え、長年の信頼とロコミでブランドを確立しております。キャンピングカーのレンタルと併せ、インバウンド需要に対するサービス拡大を図ります。

## 3. メディア事業

「伝えたいことを、知りたい人に」を理念とする当社子会社である株式会社まぐまぐにて、世界中からクリエイター等のコンテンツを集め、その情報に価値を感じる人の手元に届ける仕組みを開発・提供しています。無料・有料メールマガジン配信サービスの「まぐまぐ!」をはじめ、ライブ配信サービス「まぐまぐ!LIVE」、また、コンテンツを発掘し、数多くの知りたい人に届けることができるWEBメディア「MAG2 NEWS」「MONEY VOICE」「TRiP EDITOR」「by them」の運営を行なっています。

当第1四半期連結累計期間におけるオンライン旅行事業のセグメント売上収益は4,933百万円、セグメント利益は683百万円となりました。

## ITオフショア開発事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上収益	153	98	△55	△36.07%
セグメント利益	111	3	△108	△96.63%

ITオフショア開発事業では、ベトナムのホーチミン、ハノイ及びダナンにて、主にEコマース・Webソリューション・ゲーム・システム開発会社等を顧客として、開発サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間におけるITオフショア開発事業セグメントの売上収益は98百万円、セグメント利益は3百万円となりました。

## 投資事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上収益	302	0	△302	△100%
セグメント利益	193	136	△57	△29.5%

投資事業では、成長企業への投資育成を行い、投資先企業との協業等によるシナジーを追求すると共に、投資先の成長や上場等に伴うキャピタルゲイン獲得を目指しています。当第1四半期連結累計期間においては、投資先を89社まで拡大しております。

当第1四半期連結累計期間における投資事業セグメントのセグメント利益は136百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ555百万円減少し、23,580百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が1,551百万円減少した一方、その他の金融資産が659百万円増加したことによるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ676百万円減少し、13,549百万円となりました。これは主に、有利子負債が253百万円、営業債務及びその他の債務が459百万円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ121百万円増加し、10,030百万円となりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間の利益に係る利益剰余金の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、2022年11月14日に公表した「2022年9月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」により開示を行った業績予想から変更はありません。変更があり次第、速やかに開示いたします。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,954	7,403
営業債権及びその他の債権	2,079	2,518
その他の金融資産	6,035	6,695
棚卸資産	77	72
その他の流動資産	1,167	1,048
小計	18,313	17,738
売買目的で保有する資産	72	-
流動資産合計	18,386	17,738
非流動資産		
有形固定資産	286	294
使用権資産	1,443	1,411
のれん	1,189	1,188
無形資産	1,191	1,246
持分法で会計処理されている投資	1,016	1,016
その他の金融資産	597	658
その他の非流動資産	18	16
繰延税金資産	6	8
非流動資産合計	5,748	5,841
資産合計	24,135	23,580

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	3,588	3,129
有利子負債	3,252	3,068
リース負債	178	187
その他の金融負債	192	241
未払法人所得税	215	328
その他の流動負債	2,144	2,128
小計	9,572	9,084
売却目的で保有する資産に直接関 連する負債	108	-
流動負債合計	9,680	9,084
非流動負債		
有利子負債	2,764	2,695
リース負債	1,331	1,288
その他の金融負債	6	5
引当金	48	48
繰延税金負債	390	423
その他の非流動負債	3	3
非流動負債合計	4,545	4,465
負債合計	14,226	13,549
資本		
資本金	1,547	1,551
資本剰余金	2,094	2,090
利益剰余金	5,335	5,482
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	209	175
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,185	9,299
非支配持分	723	730
資本合計	9,908	10,030
負債及び資本合計	24,135	23,580

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	3,143	5,031
売上原価	△1,240	△2,560
売上総利益	1,902	2,471
販売費及び一般管理費	△1,548	△2,107
投資損益	52	147
持分法による投資損益(△は損失)	11	4
その他の収益	560	97
その他の費用	△38	△34
営業利益	941	579
金融収益	3	40
金融費用	△39	△18
税引前四半期利益	905	601
法人所得税費用	△173	△189
四半期利益	731	412
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	717	370
非支配持分	14	42
四半期利益	731	412
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	32.43	16.70
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	31.56	16.41

要約四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	731	412
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	11	△71
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分	-	0
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	11	△70
その他の包括利益(税引後)合計	11	△70
四半期包括利益	743	341
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	723	335
非支配持分	20	6

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の資本 の構成要素	自己株式			
2021年10月1日残高	1,529	2,013	3,864	68	△0	7,475	661	8,136
四半期利益(△は損失)	-	-	717	-	-	717	14	731
その他の包括利益	-	-	-	6	-	6	5	11
四半期包括利益	-	-	717	6	-	723	20	743
剰余金の配当	-	-	△221	-	-	△221	-	△221
新株発行	3	3	-	-	-	7	-	7
振替及びその他の変動による増加(減少)	-	-	0	△5	-	△6	△1	△8
所有者との取引額等合計	3	3	△221	△5	-	△220	△1	△222
2021年12月31日現在	1,533	2,017	4,359	68	△0	7,978	679	8,658

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の資本 の構成要素	自己株式			
2022年10月1日残高	1,547	2,094	5,335	209	△0	9,185	723	9,908
四半期利益(△は損失)	-	-	370	-	-	370	42	412
その他の包括利益	-	-	-	△34	-	△34	△35	△70
四半期包括利益	-	-	370	△34	-	335	6	341
剰余金の配当	-	-	△221	-	-	△221	-	△221
新株発行	4	4	-	-	-	8	-	8
振替及びその他の変動による増加(減少)	-	-	-	-	-	-	△3	△3
支配継続子会社に対する持分変動	-	△8	-	-	-	△8	4	△4
所有者との取引額等合計	4	△4	△221	-	-	△221	0	△220
2022年12月31日現在	1,551	2,090	5,483	175	△0	9,299	730	10,030

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	905	601
減価償却費及び償却費	194	159
投資損益	△52	△147
事業譲渡益	△277	-
受取保険金	△200	-
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△33	△447
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△23	4
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	953	△464
前渡金の増減額 (△は増加)	△174	135
差入保証金の増減額	△200	△59
営業投資有価証券の増加額(△は増加)	△37	△483
その他	△45	△157
小計	1,008	△860
利息及び配当金の受取額	2	1
利息の支払額	△30	△21
法人所得税の支払額	△264	△31
保険金の受取額	198	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	914	△911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	△21	-
関係会社株式の売却による収入	61	-
無形資産の取得による支出	△150	△178
その他	30	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	-
長期借入れによる収入	-	211
長期借入れの返済による支出	△327	△420
リース債務の返済による支出	△89	△38
株式の発行による収入	7	8
親会社所有者への配当金の支出	△205	△203
その他	-	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△615	△500
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	239	△1,616
現金及び現金同等物の期首残高	8,771	8,954
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	65
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,011	7,403

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、「One Asia」をビジョンに掲げ、アジアの様々なチャンスやエンジニアを繋ぐ架け橋となることを目指し、「オンライン旅行事業」「ITオフショア開発事業」「投資事業」と3つの事業を柱に独自性が高いビジネスモデルを事業として主な報告セグメントとして区分し、グループ戦略を立案・決定しております。

なお、各報告セグメントに含まれる事業と主要製品は、以下のとおりであります。

オンライン旅行事業 : エアトリ旅行事業、訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業、メディア事業  
 ITオフショア開発事業 : ラボ型オフショア開発サービス、BPOサービス  
 投資事業 : 成長・再生企業への投資

## (2) セグメント収益及び業績の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、要約四半期連結財務諸表作成の会計方針と同一であります。

## (3) セグメント収益及び業績に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結合計	
	オンライン 旅行事業	IT オフショア 開発事業	投資事業	計					
外部売上収益	2,685	153	302	3,141	1	3,143	-	3,143	
セグメント間収益	0	0	-	1	-	1	△1	-	
売上収益合計	2,685	154	302	3,143	1	3,144	△1	3,143	
セグメント利益	854	111	193	1,159	1	1,161	△219	941	
金融収益									3
金融費用									△39
税引前四半期利益									905

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告収益などの事業を含んでおりません。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引であります。

当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結合計	
	オンライン 旅行事業	IT オフショア 開発事業	投資事業	計					
外部売上収益	4,933	98	-	5,031	-	5,031	-	5,031	
セグメント間収益	0	-	-	0	-	0	△0	-	
売上収益合計	4,933	98	-	5,031	-	5,031	△0	5,031	
セグメント利益	683	3	136	823	-	823	△243	579	
金融収益									40
金融費用									△18
税引前四半期利益									601

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告収益などの事業を含んでおりません。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。